

# 令和4年度 西泊中学校 部活動（運動部・文化部）の活動方針

## 適切な部活動を目指して

部活動は、学校教育の一環としておこなわれるものであり、異年齢との交流の中で、児童生徒同士、児童生徒と教師等との好ましい人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して、自己肯定感を高めたりするなど、その教育的意義は大きい。活動においては、児童生徒が自主的、自発的な参加となるように、実施形態などを工夫するとともに、休養日や活動時間を適切に設定するなど児童生徒のバランスのとれた生活や成長に配慮することが必要である。

### スポーツ医・科学的見地から

ジュニア期におけるスポーツ活動時間について、「休養日を少なくとも1週間に1～2日設けること」さらに「週当たりの活動時間の上限は16時間未満とすること」が望ましい。（公益財団法人 日本スポーツ協会）

### バランスのとれた活動

活動においては、児童生徒に、自主的、自発的に参加できるよう、実施形態などを工夫するとともに、休養日や活動時間を適切に設定するなど児童生徒のバランスのとれた生活や成長に配慮することが必要。

### スポーツ庁

運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

### 文化庁

文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

## 長崎県教育委員会

長崎県運動部活動の在り方に関するガイドライン

長崎県文化部活動の在り方に関するガイドライン

## 長崎市教育委員会

課外クラブ（部活動）指導の手引き（長崎市版ガイドライン） 運動部活動概要版・文化部活動概要版

「ねばり強くたくましい 心豊かな長崎っ子を育む望ましい課外クラブ（部活動）をめざして」  
 ア児童生徒の個性の尊重と適切な課外クラブ（部活動）の運営  
 イ児童生徒のバランスのとれた生活の確保  
 ウ地域や保護者に関わった課外クラブ（部活動）の運営

※詳しくは、長崎市課外クラブ（部活動）ガイドライン

### 各学校

### 部活動に係る地域の実情等

【児童生徒や保護者、地域の実情】

○昨年度、部活動加入率は62%にとどまり、部活動に対する関心はあまり高くない。しかし、一部の生徒は、校外で野球やサッカー、空手道などを行っている。

○一昨年度からは、バスケットボールの社会体育チームを立ち上げ、本校の体育館が開いている日に活動を行っている。バスケットボール部をつくってほしいとの要望が数年前からあるが、本校の現部活動の実態、職員数等から考えると、早急にその要望に応えることはなかなか困難である。

【施設等の使用状況】

○体育館でバレーボール部とバドミントン部、グラウンドで野球部とサッカー部（夏季以外は水泳部も）、プールで水泳部、校内の美術室で文化部が活動している。

○水泳部は、学校のプールが使用できないときは、神の島プールや市民プールを使用することがある。

○学校の部活動が休み（基本的には水曜日と日曜日）のときは、社会体育のバスケットボールに体育館を貸している。

### 本校の活動方針

【部活動のねらい】

○部活動は、生徒の自主的・主体的な参加により、スポーツや文化に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の育成等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものである。また、体力や技能のみならず、好ましい人間関係の形成や社会性等を養う多様な学びの場として教育的意義があり、本校部活動を学校管理下において行われる教育活動に位置づけて実施する。

【休養日及び活動時間】

①週当たり2日の休養日を設定する。平日は原則水曜日とし、土・日曜日のどちらか1日を休養日とする。また、毎月第3日曜日は「家庭の日」として原則休養日とする。休養日に大会等が実施される場合は、事前に校長の許可を得て参加するものとし、休養日を別の日に振り替えを行う。

②活動時間（主運動）は平日で2時間程度、週休日や祝日及び長期休業中は3時間程度とし、別途定めた季節ごとの時間とする。ただし、大会や合同練習会等で指導時間が長くなる場合には、校長の許可を受けて活動する。

【活動計画立案（大会参加の目安を含む）及び提出と公開】

○各部活動ごとに年間指導計画を作成し、部活動振興会総会や各部の部会等を通じて、公開している。

【研修参加及び情報の共有、保護者や外部指導者との連携】

○年度初めに部活動振興会総会の開催。

○年に1～2回、各部ごとに部会の開催。

【熱中症等の事故防止について】

○練習場所の安全点検や生徒の健康観察を行い、事故防止に努める。また、暴雨警報や高温注意報が発せられるなど、特段の配慮が必要な場合には、活動内容の変更、活動時間の短縮や時間帯の変更、活動を中止する等の対応をする。

【児童生徒のニーズを踏まえた運動部設置の検討】

○小学校の課外活動にバスケットボールがあることから、数年前からバスケットボール部新設の要望がある。本校の部活動の現状、職員数等から考えると、早急にその要望に応えることはなかなか困難であるが、今後生徒数や職員数が増え、対応できる環境が整ったら、新設する可能性がある。